



# みどりの風

公益財団法人  
 奈良市生涯学習財団 月ヶ瀬公民館  
 奈良市月ヶ瀬尾山 2815 番地  
 TEL&FAX 0743-92-0346  
 発行人 館長 上田 善紀  
 発行日 平成29年10月24日(火) 第6号

## 「こんな講座をしました」①

〜梅の里学級〜

10月12日(木)、3回目となる梅の里学級は、室生よりボランティアグループ「円(まどか)」の皆さんをお招きして、創作劇やマジックなど、楽しい演芸を楽しみました。

参加者の皆さんも、早口言葉に挑戦。和やかな梅の里学級でした。



■福北文雄さん(長引)：…どんな話であっても、人から話を聞くのが好きです。知らなかったことを知る楽しみがあり、いろいろな情報を得たいと思って、梅の里学級の講座に毎回参加している。

- □ □ □ □ □ □ □ □ □



「殿様の長袴、若殿様の小長袴…」  
 早口言葉に挑戦する 余裕しゃべり  
 さへの森下清志(長引) (長引)

## 「こんな講座をしました」②

〜茶芽っ子クラブ〜

10月18日(水)、4回目となる茶芽っ子クラブは、少林寺拳法に汗を流しました。鮎谷 浩司師範(大和御杖道院)、三宅 俊郎師範(大和針道院)の二人から、子どもたちにも手ほどきをしていただきました。

基本技「突(つき)蹴(けり)のほか、相手の小指を握ってひねる技も教えていただき、護身の心構えもしっかり学びました。



なめらかな早口言葉の西原 勝代さん(長引)、稲森 源治さん(石打)

## これで、お兄ちゃんに勝てる!!!

■西浦 爽さん(4年)：…お兄ちゃんに勝ちたいと思っていたので、少林寺を習うのをずっと楽しみにしていた。今日は、期待していた以上にとても楽しかった。

■阪本 真由さん(1年)：…「つき」とか「けり」とかうまくやれたので、とても楽しかった。

■小西 捷斗くん(4年)：…ぼくは、保育園のころから柔道を習っているのですが、少林寺を習うのをとても楽しみにしていた。わざわざいぎなど共通していて勉強になった。

師範の突きと、みごと(体(たい)をか)わす井岡 悠人くん(3年)



※裏面にも写真を掲載しています。

## 月ヶ瀬薫風

超大型の台風21号が各地で甚大な被害をもたらしました。月ヶ瀬でも、人的な被害こそありませんでしたが、いくつかの地区では土砂崩れが起きました。出勤された消防団の方々は、たいへんな思いをして復旧に尽力されたとうかがっています。▼公民館では、月ヶ瀬の魅力を市街地の市民に発信する事業として、もみじまつりに合わせた「紅葉の月ヶ瀬湖巡り」と、月ヶ瀬を世に広めた斎藤拙堂に焦点を当てて梅まつりに合わせてフィールドワークをする「月ヶ瀬梅林と斎藤拙堂」の2事業を企画しています▼隠れた穴場のようなスポットやビューポイントになるところがあれば、ぜひ教えてくだい。





初めてとは思えません。ポーズも決まっている、西浦 爽さん(左)と小西 捷斗くん



こんな講座をしました③

～ 人形劇 ～ 10月20日(金)、劇団「ひな」の皆さんによる本格的な人形劇を、子どもたちが楽しみました。

### 俳句会

小谷ますみ・選

#### 9月の俳句 月ヶ瀬句会より

のど黒き魚開かれし熊登晩夏 美紀子  
 草の葉に太る雫や秋隣 節子  
 山萩を供へ町屋の地蔵仏 豊美  
 枝豆やぼんと飛び出た里こぼ かつ野  
 住みつきし守宮の数のまた増へて すま  
 鈴虫の音に戸を少し開けてみむ 繁夫

#### 10月の俳句 月ヶ瀬句会より

秋日差し程よく焦げしパン齧る 美紀子  
 いつまでもつきぬ語らひ秋の宿 豊美  
 古民家の長い縁側小春風 ちずこ  
 山脈にソーラーパネル月淡し 恵翠  
 輝ける場所知りつくす彼岸花 ふみ子  
 秋日笑む庭いつばいに子等睦ぶ 残照  
 戻る人行く人のあり秋灯 旅人  
 四つ辻の古ぶ標や鉦叩 かつ野  
 桃吹くや母の紡ぎの手を想ふ すま  
 あちこちにコスモスとびて花盛り 利明  
 ひらがなの便り一枚秋零る 節子  
 葛の花人の絆の縦横に ますみ

※「桃吹く」…綿の実がはじけて白綿が露出する。桃に似ているためできた言葉、秋の季語。

↑ おもて面に

続く茶芽っ

子の写真



### 月ヶ瀬小・中学生のみなさんへ

#### 藤井聡太くんのはなし

将棋で前人未到の29連勝を達成した中学生棋士・藤井聡太4段が一躍、脚光を浴びていますね。将棋の勝敗以外に、対局後のコメントもまた話題になりました。連勝中の自身の活躍に対して「僥倖(きやうこう)としか言いようがない」「望外の結果です」といった、中学生としては難しい言葉を使ってインタビューに答えています。

藤井くんは、学習塾に通ったことがないそうです。毎日、数時間将棋をする時間に充(あ)てている藤井くんは、学習塾に行っている時間などありません。

では、どこで言葉の勉強をしていたのでしょうか。それは、新聞だそうです。5歳で将棋を覚えた藤井くんは、朝刊に毎朝掲載される将棋の観戦記を読むのを楽しみにしていたということです。「プロの先生方が次の一手をどう指すのか、新聞を読みながら自分でも考えていた。その積み重ねが勉強になった」と語っています。その副産物として、いろんな言葉を獲得したんですね。自分の最も興味あるものについて書かれた文章に触れる「おわり」、一石(いし)鳥(とり)ですね。

#### 月ヶ瀬文化祭



- 期日 11月5日(日) 10時～
- 場所 月ヶ瀬公民館
- ステージ

#### 【午前の部】

- ① やまびこ太鼓
- ② 子供狂言
- ③ 演奏(琴・三味線)
- ④ カラオケ
- ⑤ ダンス(フラダンス)
- ⑥ ダンス(ジャズダンス)
- ⑦ 演奏(ジャズバンド)

#### 【午後の部】

- ⑧ 歌と舞踊
- ⑨ コーラス
- ⑩ ゲスト(落語劇)
- ⑪ ゲスト(歌唱)

#### □ バザー

・ 駐車場内にて、12品目の食品バザーとリサイクルバザーが出店します。

#### □ 展示

・ 会場 月ヶ瀬公民館  
 ・ 別会場 月ヶ瀬こども園  
 小中学校

#### □ 連絡

・ 駐車場所は、こども園前の駐車場を利用してくださいます。行政センターの駐車場は、ゲスト用です。ご協力ください。